

## 「平成 2 1 年度夏期授業実践講座」 実施報告書

講座名	造形教育講座		
講 師	西村貞雄氏（琉球大学教育学部名誉教授）		
実施日時	平成 2 1 年 7 月 2 9 日水曜日（9：30～12：00）		
参加者	8 1 人		
講座内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表情のある人間を表現させるには</li> <li>・ 人の動きが描ける</li> <li>・ 導入はあっても学習のない図工美術が多い</li> <li>・ 現状</li> <li>・ かたまり描き</li> <li>・ 流れ描き、ポイント描き</li> <li>・ パッと見て描く（パッと見て、パッとつかむ）</li> </ul>		
参加者の感想・質問など	<p>○子どもが何処でつまずき、とまどっているのかを感じることができました。</p> <p>○西村先生の説明がたいへんわかりやすかったです。</p> <p>○人の動きの描き方ということで、授業に直接生かせる内容でした。腰から描くというところなど、初めて知ることが多かったです。</p> <p>○私自身が絵を描くことが苦手です。それで、こどもにきちんとした指導ができないので、今日の講座で、絵の苦手な子に対する方法を学ぶことができて、とてもよかったです。かたまり描きや流れ描き等、早速授業に取り入れていこうと思います。</p> <p>○いつも部分に目がいってしまい、全体のバランスがおかしくなるので、「流れ描き」という方法で、全体を捉えて描くことを勉強できて良かったです。また、かたまり描きでは、人の姿がとても描きやすくて、子どもたちにもすぐ教えたいと思いました。</p> <p>○低学年の担任として、ドーナツ描き等の色遊びを通して、苦手意識を持たさないような指導が必要だと思いました。</p> <p>○自分自身が子供になった気分で体験できて良かった。</p>		
			